

① 「上杉謙信公のふるさと上越市」のアピール

上杉謙信はもとより、越後十七武将達をズームアップ

- ・上杉謙信公と十七武将達の、ゆかりの地を巡るスタンプラリー

(ゆかりの地の整備が必要)

- ・上越妙高駅・謙信公武道館・春日山城のそれぞれの謙信公像のミニチュアを

何個かに分解し、ゆかりの地や像のある所で配布(販売)し、全て集めると、

それぞれの像のミニチュアが完成

- ・謙信公と十七武将達のフィギュア販売

② 高田城址公園

春→桜(露店あり)

夏→蓮(露店無し)1週間~10日ほど露店を出し、集客

冬→今のままでは、冬に集客無し。

雪とイルミネーションで、冬にも集客

③ 雪月花

季節列車として、年に2回ほど大都市（東京・新潟・大阪）等に乗入れ、新潟県上越地域には、こんなリゾート列車が運行している事をアピール

現状、情報発信力が足りていない（たまにテレビでリゾート列車の放送時に取り上げてもらえるが、それだけでは電車好きな人しか知らないで終わってしまう）

④ 佐渡観光へ玄関口

今のままでは、佐渡観光への玄関口としての役割でしかない。（通過のみ）

関西方面から、佐渡観光の客があったとしても、上越妙高駅・直江津駅から直通でバスが運行されているため、どこかに立ち寄ることはないを考える。

⑤ 直江津駅周辺の整備

直江津南小学校を移転もしくは直江津小学校と統合し、跡地に公園整備

（子どもが安心して裸足で遊べるような公園）

この公園を核に、各種イベントを開催